



Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara

奈良日独協会（会長 河野良文）

奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

事務局：加納雅之（Tel/Fax 0742-22-3636）

“これは会員相互のコミュニケーションツールです。皆様からの情報は事務局へ”

12 - 1月行事予定

1. クリスマス会

日時：12月12日（土）17：30～
 場所：和ダイニング花小路（奈良市小西町）
 会費：3000円 但し学生2000円
 詳細案内は別途送付済
 万障繰り合わせの上、是非ご出席お願いします。

2. 近畿地区日独協会合同新年会

日時：1月8日（金）18：30～
 場所：アサヒスーパードライ梅田（大阪梅田交差点「フェニックスタワー」地下1階）
 各個人で実費支払
 主催：大阪日独協会
 参加申込：事務局までご連絡をお願いします。

会員だより

会員の関口行弘さんが、ドイツ文化を幅広く紹介するページ「ドイツゆうゆう」を編集し、日本ベーリンガーインゲルハイム社のホームページに掲載されました。今回は、当協会会員のブーヘンベルガーさんによる記事も紹介されています。是非アクセスしてみてください。

今回のコンテンツ：

日独交流150年- 私のア・ラ・カルト
 池内紀（ドイツ文学者）
 ドイツ文学の旅 森鷗外とベルリン
 山下万里（拓殖大学教授）
 ドイツ食を楽しむ-ドイツ料理とソーセージ
 ブーヘンベルガー・ステファン
 （奈良女子大学教師・当協会会員）

日本ベーリンガーで検索、広報誌「インゲルハイマー」を開いて閲覧できます。

訃報

10月7日、当協会の顧問であり、先代会長河野清晃氏の奥様の河野久子様がお逝去されました。
 謹んでお悔やみ申し上げますと共に、お知らせ致します。

9 - 11月の行事報告

1. 大安寺源流伝承セミナー2009

9月6日、10月11日、11月15日と3回に亘って大安寺で開催された標記セミナー（Nara Stag Club 企画・奈良日独協会共催）が、各回参加者が100名を超え盛況の内終えた。
 毎回、ドイツ語文化の研究をされている竹原威滋先生（奈良教育大学特任教授＝写真）より、「古事記」から「グリム童話」、「世界の瘤（こぶ）取り鬼の系譜」と幅広い話題を軽妙な語り口での講演頂き、さらに村上郁氏（お話サークル「がらごらどん」主宰者＝写真）による奈良の民話の語り、チター演奏、ケルト民謡コンサート、10月には、なかじまゆたか童話・童画展の併開催と、大変内容に富んだプログラムであった。
 参加者は、古来より伝承されている奈良の伝承民話やドイツをはじめとする世界の民話と音楽に、五感で触れあい体感できたセミナーであった。



中心となって企画・運営に当たっていただいた Nara Stag Club の皆様に感謝し、益々のご活躍をお祈りします。

2. 環境イベント「どうする、奈良のエネルギー？」

（10月17日（土）奈良市中部公民館5階、当協会後援事業）
 奈良市地球温暖化対策地域協議会主催の一周年記念イベントとして、基調講演・パネルディスカッション・パネル展が開催された。
 基調講演では、当協会会員の藤澤一夫氏が「環境先進国ドイツの試み」と題し、ドイツの風力、太陽光、バイオマスの実用化などについて、最新のデータと写真を通して環境政策と現状を紹介された。
 パネル展では、ドイツ総領事館提供による「ドイツの持続可能な暮らし」が紹介された。

3. (財)日独協会より古森重隆会長来訪

（11月6日、当協会より役員3名同席）
 「日独交流150周年」の記念行事として、2011年春、奈良市において「日独パートナー会議」の開催が予定されています。これに関連して、(財)日独協会の古森重隆会長が、会場予定地の奈良県新公会堂を安村英明館長の案内で視察された（＝左上写真）。その後、河野会長らと荒井正吾奈良県知事を訪問し「日独パートナー会議開催の協力を要請された。

「日独交流150周年」の事業分野としては、これまでの日独交流を回顧すると共に未来に向けた日独関係の構築を目指すという観点から、政治、経済、教育、科学技術、文化、社会、スポーツなどを含む広範な分野を対象とすることが考えられ、奈良では「日独パートナーシップ会議」に加え「先端科学技術フォーラム」の開催が検討されています。
 今後共、「日独交流150周年」に向けた日独夫々の活動を逐次ニュースレターで紹介していきます。

--	--